



ペガサスニュース

発行人/馬場武彦
 発行/社会医療法人ペガサス
 大阪府堺市西区浜寺船尾町東4-244
<http://www.pegasasu.or.jp/>
 編集/ペガサス広報委員会 編集グループ
 編集協力/HIPコーポレーション
 発行/平成26年1月17日

Vol.62

TOPICS 6 馬場記念病院 職員運動会開催

年に1度、家族ぐるみの大運動会で心も体もリフレッシュ。

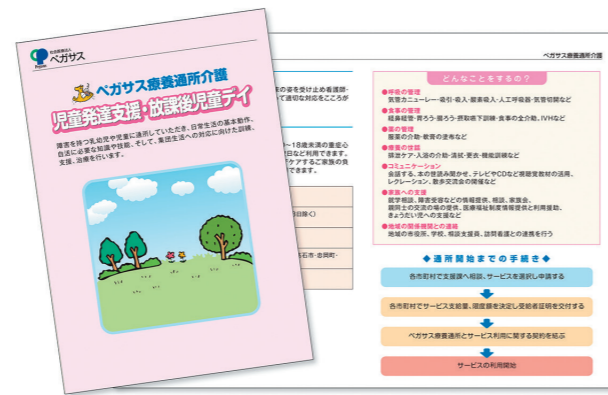
澄んだ晴天が広がる10月14日、ペガサスグループ全体の運動会を、J-GREEN堺にて開催しました。グループ職員とその家族の親睦を深めるためのこの運動会。参加者はリレー・玉入れなど運動会ではお馴染みの競技や、フットサル・ドッジボールといった球技など、さまざまな種目で汗を流しました。職員間・家族間で盛んに声援を掛け合う和やかな雰囲気の中、誰もが笑顔でスポーツの秋を満喫していました。



TOPICS 7 療養通所介護/ 10月から障害児対応開始

イキイキと学び、ノビノビと過ごす。児童発達支援のデイサービス開始。

ペガサス療養通所介護では、平成25年10月より0～18歳未満の重症身体障害者を対象に、放課後デイサービスを開始しました。日常生活の基本動作、自活に必要な知識・技能、集団生活への対応に向けて訓練・支援・治療を行います。放課後や休校日などのご利用が可能で、ケアをされるご家族の負担軽減にもつながります。本サービスに関する相談・申請は各市町村の支援課までお気軽にどうぞ。



法人本部から地域の皆さまへ

馬場記念病院は平成25年10月に4度目の病院機能評価を受審しました。

病院機能評価とは、患者さまが安心して質の高い医療を受けられることを目的に、財団法人日本医療機能評価機構が実施する事業です。専門知識の豊富な調査者が、中立・公平な立場から病院の機能、安全管理体制、療養環境などを評価し、評価の結果明らかになった課題に対して、病院が改善に取り組むことで医療の質の向上が図られます。



また、医療をめぐる環境は日々変化していますので、一度決められた内容でも必要に応じて改訂を繰り返し、時代に即した医療の質を確保できるよう職員の誰もが心がけています。



平成11年に初めての病院機能評価を受審して以後、過去2度の認定更新についても、そういった日々の取り組みの延長として受審し、認定をいただけてきました。

求められる医療の質の水準は時代とともに年々上がっており、病院機能評価の認定更新も回を重ねるごとにハードルの高いものとなっているのが現実です。

しかしながら、すべての職員が常日頃から「より良い病院づくり」について考え、「より安心して質の高い医療サービス」をめざして適正な業務を実施してきた結果、今回もこれまで以上に自信を持って更新審査に臨むことができました。

4度目の病院機能評価を終えて



当院にとって、今回の受審は平成21年に医療法人から社会医療法人への承認を受けて以来初めてであり、これまで以上に大きな責任を感じての受審でしたが、地域医療支援病院として地域の方々からの期待にお応えできる評価をいただくことができると自負しています。

これからも、職員一同、真摯な姿勢でたゆまぬ自己変革を続けていきます。

病院機能評価の詳細については、ペガサス情報誌「つばさ」にて紹介していきます。そちらもぜひご覧ください。

ペガサス医療体験デイ 就活バージョン



毎回好評の「ペガサス医療体験デイ 就活バージョン」。看護師、リハビリテーションスタッフ、薬剤師、介護職員をめざす学生の方や既卒の方を対象に、院内体験見学や就職についての説明会を開催します。ぜひ、お気軽にご参加ください。

開催日 2月22日(土) 受付時間 12:30～

看護師 求人サイト



看護師 動画サイト



詳しくはペガサスのホームページをご覧ください。 <http://pegasasu.or.jp/>

私たちと一緒に働きましょう。 介護職員募集中! 随時受付しています。

ペガサスでは今、介護職員を募集中です。いつでもご連絡いただければ、ペガサスグループの施設見学などへご案内します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

2月 ペガサスセミナー

受けよう健康診断! ~病気の治療は早期発見から~

講師:ペガサス健診センター 河原志美・陸野洋平
 日時:2月27日(木)午後2時~3時
 場所:馬場記念病院 1階ロビー

2月 ペルセウス介護支援セミナー

ホームヘルパーを上手に利用して快適な在宅生活

講師:ペガサスヘルパーセンター管理者 原田佳子
 日時:2月13日(木)午後3時~
 場所:介護療養型老人保健施設 ペルセウス3階食堂

病院機能評価受審のきっかけ

馬場記念病院では、こういった第三者機関による評価を受けることを、「より良い病院づくり」への改善のきっかけであると考え、14年前の当時は受審病院が少なかった病院機能評価を受審することを決めました。

それ以来、日常的な診療や看護といった医療業務に取り組むなかで、先送りにされがちさまざまな問題に、職員たちは一つひとつ自主性を持って向き合い、日々改善へと努めています。

より安心して質の高い医療サービスのために

改善への取り組みのなかで生まれる決まりごとはその都度明文化され、「ペガサスルール」と呼ばれる院内のルールブックとして一冊のファイルにまとめ上げられてきました。

シリーズ 26 医療福祉相談室

救急医療の一端を担う意識を持ち、入院患者さまの退院支援に全力を注いでいます。

患者さまやご家族のご相談に対応するソーシャルワーカー。

医療福祉相談室は、患者さまやご家族の悩み、不安を少しでも取り除くために、さまざまなご相談にお応えする部門です。現在15名のソーシャルワーカーが勤務し、馬場記念病院、ペガサスリハビリテーション病院、介護療養型老人保健施設「ペルセウス」「エクウス」の4施設の業務を分担しています。

ソーシャルワーカーとはそもそも、生活上の不安や困りごとを抱える人々の相談に応じ、問題の解決・調整を行う専門職の総称です。病院勤務の場合は「医療ソーシャルワーカー」、老人保健施設の場合は「支援相談員」と、名称は変わりますが、その役割は基本的に同じです。ここでは、馬場記念病院における医療ソーシャルワーカーの業務を中心に、医療福祉相談室の機能についてご説明していきます。

入院患者さまが退院後、安心して生活できるように支援しています。

医療福祉相談室に寄せられる相談内容は多岐にわたりますが、その多くは、入院患者さまの退院後の生活に関するご相談です。たとえば、一人暮らしの方、経済的な不安がある方など、社会的背景は個々に違います。また、お身体が不自由になった場合、社会復帰への大きな不安もあります。そうしたあらゆるご相談に応え、退院後、安心して快適に生活できるように、患者さまやご家族と何度も話し合いを重ねていきます。退院し

て在宅に戻られる場合は、在宅療養のお手伝いをしています。他の病院・施設へ移られる場合は、ご希望を最優先して、ペガサスグループの施設をはじめ、適切な候補をご提案しています。

また、入院患者さまの退院支援をスムーズに進めるには、他職種との連携も欠かせません。そのため、各診療科の回診やカンファレンスに参加し、医師や看護師等、メディカルスタッフと情報を共有し、早い段階から患者さまの病状や社会的背景を把握し、退院に向けて援助していくよう努めています。

ペガサスグループ全体で「断らない救急」を実践。

私たちが常に心がけているのは、「救急医療の一端を担っている」という意識を持つことです。ソーシャルワーカーは直接、治療や看護などを提供するわけではありません。しかし、私たちが入院患者さまの退院支



医療福祉相談室 主任 丸山 秀幸

援を円滑に行うことによって、緊急入院が必要な患者さまを受け入れることにつながります。

入院患者さまのなかには、突然の病気に対する不安と戸惑いのなかで、「もう少し入院したい」と希望する方もいらっしゃいます。その場合、一人でも多くの救急患者さまを受け入れるために、ベッドの空きを確保しなくてはならないことや、リハビリテーションを続ける患者さまであれば、急性期病棟ではなく、回復期リハビリテーション病棟での治療が最適であることを丁寧に説明し、納得していただいています。

こうした救急医療への高い意識は、馬場記念病院だけでなく、ペガサスリハビリテーション病院やペルセウス、エクウスの担当職員まで浸透しています。急性期から回復期、療養期まで、病状に応じたステージをご案内しながら、ペガサスグループ全体で「断らない救急」を実践しています。

自分で決める、自分の医療。今から備えておきたい「事前指定書」。

もしも、あなたが終末期^(※1)を迎えたら、延命治療を求めますか。それとも……。万一のとき、自分の受けたい医療を書き記しておくのが、「事前指定書」。たとえば、人工呼吸器や経管栄養を希望するかどうかなどを書いておけば、ご家族は悩むことなく、ご本人の望む医療を選択できます。事前指定書は、「患者さま本位の医療」を提供する上で、とても大切なものです。医療福祉相談室では、今年度からペガサスセミナー^(※2)を通じて、「事前指定書の普及活動」に取り組んでいます。書面には、とくに決まった様式はありませんが、ご希望の方には医療福祉相談室でお渡します。ぜひお気軽にお申し出ください。

※1 医師による治療で回復の可能性がなく、数週間～数カ月(およそ6カ月以内)のうちに死亡するだろうと予期される状態になった時期。
 ※2 毎月1回、地域の皆さまを対象に開催している、ペガサス職員による健康講座。



事前指定書の一部

TOPICS 1 ペガサスグループ Facebookページのお知らせ

「知る」「見る」がいつでも、どこでも。リアルタイムで情報をお届けします。



ペガサスグループではFacebookページを開設し、インターネットを通じて情報をリアルタイムで皆さまにお届けしています。相談窓口のご案内や各種セミナーのお知らせ、クリスマスコンサートをはじめ各イベントのお知らせなど、ペガサスをより有効にご利用いただける情報から、地域との交流に関する情報まで、ペガサスの取り組みを随時更新しています。ぜひ一度ご覧ください。

<https://www.facebook.com/s.m.c.pegasus>

TOPICS 2 ペガサスグループ 南大阪リハビリテーション学会

職員一人ひとりがレベルアップし、安心して暮らせる地域をともに創る。

第2回 南大阪リハビリテーション学会
The 2nd South Osaka Association of Rehabilitation

会期	2014年3月8日(土)
会場	社会医療法人ペガサス 馬場記念病院 (大阪府堺市)
学会長	馬場 武彦

ペガサスグループは、平成26年3月8日に馬場記念病院にて南大阪リハビリテーション学会を開催します。この学会は南大阪地域におけるリハビリテーション提供職種のレベルアップを計り、地域市民の生活向上に寄与することを目的として創立され、今回で第2回目を迎えます。プログラムでは「疾病・リスク管理」「麻痺・機能障害」「ソーシャルワーク」「ケアマネジメント」などのカテゴリごとに一般から幅広く応募を募り、厳選した演題発表。和歌山県立医科大学教授を招いての招待講演「本当のリハビリテーション ～細胞レベルから活性化し、技能回復させるために～」や、副院長の魏 秀復による特別講演「心原性脳塞栓症の脳外科的アプローチ -症例を中心に-」も行う予定です。なお、この学会はリハビリテーションに従事する方なら、どなたでもご参加頂けます。参加申し込みの詳細は「第2回南大阪リハビリテーション学会」のHPを参照ください。
http://www.pegasus.or.jp/s_osaka_reha.html

TOPICS 3 ペガサスグループ チッパーフォーラム

より良い医療を提供するために。第9回チッパーフォーラムを開催。

12月9日、ペガサスグループがホスト役となりチッパーフォーラムを開催しました。「地域包括ケアシステム(住み慣れた地域で医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制)における自法人の立つ位置」をテーマに、全国から集まった多職種・約70人の参加者たちが、自分たちの取り組みや課題を紹介。病院・法人の垣根を越えて、良い部分を学び合える、有意義なフォーラムとなりました。



※チッパーフォーラムとは

社会医療研究所の岡田玲一郎先生の呼びかけにより、さまざまな病院の職員が集まって開く合同研修会。「チッパー=活発にしゃべる、元気が良い」の名が示す通り、異なる病院の職員が活発・自由に意見を交換し、お互いの取り組みを知り合う場。

TOPICS 4 馬場記念病院 大阪病院学会

新人育成・離職防止における取り組みが関心を集め、優秀演題に選ばれました。

10月20日、馬場記念病院は大阪国際会議場にて開催された第17回大阪病院学会に参加し、「大阪の医療・介護の進化」という学会テーマに沿い、カテゴリ別に10を超える演題を発表しました。なかでも、田中佑典を中心とした新人MSW(医療ソーシャルワーカー)が、自らの1年のなかで経験した学びや気付きを振り返りながら報告した【当院の新人育成における取り組み】。宮尾清貴によるメンタルヘルスクエアを重視し、平成24年度新人看護師の離職者数ゼロという実績に基づき報告した【看護師の離職防止の取り組み】。以上の2つの演題が参加者たちの関心を大いに集め、その活動内容が評価されるとともに、学会の優秀演題に選ばれるという栄誉を授かりました。当院では、今後も現在の医療が抱える課題を乗り越えるべく、さまざまな試みに取り組み、またそれらを幅広く発信することで、日本の医療全体の発展に、少しでも貢献していきたいと考えています。